

- ・次の項目を参考に、自由に記述してください。
- ・写真、画像等の挿入、貼り付けは自由です。
- ・なお、様式は任意とし、記載の分量はA4サイズ2ページ程度とします。
※事業計画を立案する上での分析、または根拠となる資料がある場合は別途添付してください。
- ・審査の大きな材料になりますので、積極的なアピールをお願いします。
- ・全ての項目を網羅していただく必要はありませんが、①及び②は必須とします。また、③、④は特例の適用の判断材料となりますので、ご注意ください。

① これまでの経歴や活動実績

- ・これまで、どのような知識や経験を得てきたのか
- ・どのような人と関係を持ち、協力を得てきたのか
- ・過去に、どのような取組を実施し、どのような成果を得てきたのか など

② 事業実施に向けた熱意

- ・事業実施のために、これまでにどのような準備を進めてきたのか
- ・周囲の協力や賛同、資金等をどのようにして得るつもりなのか など

③ 事業の先駆性、困難度

- ・ 先進的な取組であり、他に例が少ない独創性を持っているのか
- ・ 事業のどの部分が困難であると認識し、どのようにして乗り越えるのか
- ・ A I や I o T などの先進技術をどのように活用するのか など

④ 事業の公益性、本県への貢献度

- ・ 申請した事業が、具体的にどのような形で本県に寄与できるのか
- ・ 地域のニーズを踏まえた公益性の高い事業といえるのか など

⑤ 事業実施の実現性

- ・ どのような定量的、定性的根拠に基づいて金額、時期、場所等を選定したのか
- ・ 事業を実施する上で必要となる資格・技術・資材等は、現実的に調達できるのか
- ・ 研修等を予定している場合、受入先との調整は出来ているのか など